

大学番号：公024

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

長崎県立大学 国際社会学部 国際社会学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

長崎県公立大学法人
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画広報課企画広報グループ

職名・氏名 リーダー・前田 ^{マエダ} ^{ツカサ} 士

電話番号 0956-47-5856

（夜間） 0956-47-2191

F A X 0956-47-8047

e-mail kikaku@sun.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際社会学部

＜国際社会学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

長崎県公立大学法人

(2) 大 学 名

長崎県立大学

(3) 大学の位置

〒858-8580

長崎県佐世保市川下町123番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イナガ シブ) 稲永 忍 (平成28年4月)		
学 長	(オタ ヒロミチ) 太田 博道 (平成23年4月)		
国際社会学部長	(ムラカミ マサヒ) 村上 雅通 (平成28年4月)		
国際社会学科長	(ムラカミ マサヒ) 村上 雅通 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
 平成28年度に報告する内容 → (28)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際社会学部 国際社会学科 学士(国際社会学)	4 年	60 人	— 年次人	240 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	対象年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		平成 3 1 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	60人 一人 (一) [若干名]		人 人 () []		人 人 () []		人 人 () []		人 人 () []		1.08倍	
志願者数	302 (一) [1]	— (一) [一]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []				
受験者数	174 (一) [1]	— (一) [一]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []				
合格者数	72 (一) [0]	— (一) [一]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []				
B 入学者数	65 (一) [0]	— (一) [一]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []				
入学定員超過率 B/A	1.08											

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[—] (—) 65	[—] (—) —	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次							[] ()	[] ()	
計	[—] (—) 65		[] ()		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	65 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	65 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<国際社会学部 国際社会学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
全 学 教 育 科 目	教養セミナー	教養セミナー	1前	2			11	13 12	0 4					担当教員の昇任のため（28）
	人 文 科 学	日本史概説	1・2・3・4前		2			1						
		西洋史概説	1・2・3・4後		2			1						
		東洋史概説	未開講 1・2・3・4前		2								兼1	履修希望者がいなかったため（28）
		人文地理学	1・2・3・4後		2								兼1	教育効果の向上のため（28）
		哲学	1・2・3・4後		2			1						
		倫理学	1・2・3・4後		2								兼1	
		文学	1・2・3・4後		2			1						
		心理学	1・2・3・4前		2				1					
		文化人類学	1・2・3・4後		2								兼1	担当教員の就任辞退のため（28）
		国語表現	1・2・3・4後		2								兼1	
	社 会 科 学	日本国憲法	1・2・3・4前		2								兼1	担当教員の就任辞退のため（28）
		法学	1・2・3・4前		2								兼1	担当教員の就任辞退のため（28）
		民法入門	1・2・3・4前		2								兼1	
		政治学	1・2・3・4後		2			1						
		社会学	1・2・3・4後		2				1					
		現代社会と経済	1・2・3・4後		2				1					
		現代の企業経営	1・2・3・4前		2								兼1	
		生活と社会保障制度	1・2・3・4後		2								兼1	担当教員の就任辞退のため（28）
		現代社会の課題	1・2・3・4後		2								兼5	担当教員の就任辞退のため（28）
		自 然 科 学	数学	1・2・3・4前		2								兼2
	統計学		1・2・3・4前		2								兼2	
	化学		1・2・3・4後		2								兼1	
	物理科学		1・2・3・4前		2								兼1	
	生物科学		1・2・3・4前		2								兼1	担当教員見直しのため(28)
	科学史		1・2・3・4前		2								兼1	
	健 康 科 学	ライフスポーツ	1・2・3・4前・後		1								兼4 兼2	担当教員の就任辞退のため（28）
		現代人とスポーツ	1・2・3・4後		2								兼1	
		運動と栄養	1・2・3・4後		2								兼1	教育効果の向上のため（28）
		食文化論	1・2・3・4後		2								兼1	
		健康と科学	1・2・3・4前		2								兼1	
		被曝と健康	1・2・3・4後		1								兼1	
		暮らしの中の救急法	1・2・3・4前		2								兼1	
		対人関係論	1・2・3・4前		2								兼1	
	情 報 科 学	情報処理概論	1・2・3・4前		2								兼1	
		情報処理演習Ⅰ	1前	2									兼18	担当教員の就任辞退のため(28)
		情報処理演習Ⅱ	1・2後	2									兼18	担当教員の就任辞退のため(28)
	長 崎 を 学 ぶ	長崎と文化	1・2・3・4後		2			1						
		長崎の歴史と今	1・2・3・4後		2				1					
		長崎と宗教	1・2・3・4後		2								兼1	
		シーボルトと長崎	1・2・3・4後		2								兼1	
		長崎と産業	1・2・3・4前		2								兼7	
		長崎と平和	1・2・3・4前		2				1					
	し ま に 学 ぶ	長崎のしまに学ぶ	1前	2				11	13 12	0 4				担当教員の昇任のため（28）
		しまのフィールドワーク	1通	2				11	13 12	0 4				担当教員の昇任のため（28）

科目 区分	授業科目の名称		配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全 学 教 育 科 目	キャリア 形成	キャリアデザインⅠ	1・2後	2								兼1 担当教員見直しのため(28)
		キャリアデザインⅡ	2・3後		2							兼1 担当教員見直しのため(28)
		インターンシップ	2・3通		2							兼1 担当教員見直しのため(28)
		ボランティア活動	1・2・3・4通		2			1				
	外国語	英語	英語実践演習Ⅰ	1前・後	1		1					
		英語	英語実践演習Ⅱ	1前・後	1		1					
		英語	英語実践演習Ⅲ	1前・後	1		1					
		英語	英語実践演習Ⅳ	1前・後	1			1				
		英語	英語実践演習Ⅴ	1・2前・後		1		1				
	外国語	英語	英語実践演習Ⅵ	1・2前・後		1		1				
		英語	英語実践演習Ⅶ	1・2前・後		1		1				
		英語	英語実践演習Ⅷ	1・2・3前・後		1		1				
		英語	英語実践演習Ⅸ	1・2・3前・後		1		1				
		英語	オール・コミュニケーションⅠ	1前		1			4 3			教員の新規採用のため(28)
		英語	オール・コミュニケーションⅡ	1後		1			4 3			教員の新規採用のため(28)
		英語	オール・コミュニケーションⅢ	2前		1			4 3			教員の新規採用のため(28)
		英語	オール・コミュニケーションⅣ	2後		1			4 3			教員の新規採用のため(28)
		英語	リーディングⅠ	1前		1	1	2				
		英語	リーディングⅡ	1後		1	1	2				
		英語	リーディングⅢ	2前		1	1	2				
		英語	ライティングⅠ	1後		1	1	1	1			担当教員の就任辞退のため(28)
		英語	ライティングⅡ	2後		1			4 3			教員の新規採用のため(28)
		英語	海外語学研修(英語)	1・2前・後		2	1	1				担当教員の見直しのため(28)
		中国語	中国語ⅠA(文法)	1前		1						兼1
			中国語ⅠA(会話)	1前		1		1				兼1
			中国語ⅠA(ヒアリング作文)	1・2前		1						兼1
			中国語ⅠA(筆記・読解)	1・2前		1						兼1
			中国語ⅠB(文法)	1後		1						兼1
			中国語ⅠB(会話)	1後		1		1				兼1
			中国語ⅠB(ヒアリング作文)	1・2後		1						兼1
			中国語ⅠB(筆記・読解)	1・2後		1						兼1
			中国語ⅡA(講読)	1・2前		1						兼1
			中国語ⅡA(会話)	1・2前		1		1				兼1
			中国語ⅡA(ヒアリング作文)	1・2・3前		1	1					兼1
			中国語ⅡA(筆記・読解)	1・2・3前		1						兼1
			中国語ⅡB(講読)	1・2後		1						兼1
			中国語ⅡB(会話)	1・2後		1		1				兼1
			中国語ⅡB(ヒアリング作文)	1・2・3後		1	1					兼1
			中国語ⅡB(筆記・読解)	1・2・3後		1						兼1
			中国語ⅢA(時事・新聞)	1・2・3前		1						兼1
			中国語ⅢA(表現)	未開講 1・2・3前		1						兼1 履修希望者がいなかったため(28)
			海外語学研修(中国語)	1・2前・後		2		1				
	その他	韓国・朝鮮語ⅠA	1・2・3前		1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅠB	1・2・3後		1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅡA	2・3・4前		1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅡB	2・3・4後		1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅢA	2・3・4前		1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅢB	2・3・4後		1							兼1
		韓国・朝鮮語	海外語学研修(韓国・朝鮮語)	未開講 1・2・3前・後		2	1					授業運営上の都合のため(28)
		フランス語ⅠA	1・2・3前		1							兼1
		フランス語ⅠB	1・2・3後		1							兼1
		スペイン語ⅠA	1・2・3前		1							兼1
		スペイン語ⅠB	1・2・3後		1							兼1
		ドイツ語ⅠA	1・2・3前		1							兼1 担当教員の就任辞退のため(28)
		ドイツ語ⅠB	1・2・3後		1							兼1 担当教員の就任辞退のため(28)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
留 学 生 科 目	日本語ⅠA	1前		1							兼1		
	日本語ⅠB	1後		1							兼1		
	日本語ⅡA	1前		1							兼1		
	日本語ⅡB	1後		1							兼1		
	日本語ⅢA	1・2前		1							兼1		
	日本語ⅢB	1・2後		1							兼1		
	日本語ⅣA	1・2前		1							兼1		
	日本語ⅣB	1・2後		1							兼1		
	日本語ⅤA	1・2前		1							兼1		
	日本語ⅤB	1・2後		1							兼1		
	日本語ⅥA	1・2前		1							兼1		
	日本語ⅥB	1・2後		1							兼1		
	日本語ⅦA	1・2前		1							兼1		
	日本語ⅦB	1・2後		1							兼1		
	日本事情ⅠA	1・2前		2							兼1		
	日本事情ⅠB	1・2後		2							兼1		
	日本事情ⅡA	1・2前		2							兼1		
	日本事情ⅡB	1・2後		2							兼1		
専 門 教 育 科 目	入 門 科 目	国際社会学入門	1前	2			3					兼1 履修希望者がいなかったため(28)	
		国際関係論入門	1前	2		1							
		メディア社会学入門	1後	2			1						
		社会調査入門	1前	2			1						
		法律学総論	未開講 1・2後		2								
	基 幹 科 目	マスコミュニケーション論	1後	2			1					兼2 教育効果の向上のため(28) 担当教員の昇任のため(28)	
		比較文化論	1後	2				2 4					
		国際経済学	1後		2			1 4	0 4				
		国際法	2前	2				1					
		国際政治学	2後	2			1						
		対外政策論	2・3後		2		1						
		国際事情	2・3後		2		1						
		国際コミュニケーション論	2前	2				1					
		情報メディア文化論	2・3前		2		1						
		ネットワーク経済論	2・3後		2			1					
	展 開 科 目	グ ロ ー バ ル 社 会 の 研 究	国際機構論	2後	2			1				兼1 担当教員の昇任のため(28)	
			安全保障論	3・4前		2		1					
			開発援助論	3後	2				1 4	0 4			
			国際金融論	2・3後		2			1				
			国際情報論	2・3後		2		1					
			国際社会と環境保全	3前		2							
			国際社会と人権	3・4後	2				1				
			異文化コミュニケーション	3前	2				1				
			国際文化論	3・4後		2			1				
		ジェンダー論	3・4後		2			1					
		地 域 の 理 解	地 理 学 概 論	1・2後		2							兼1 教育効果の向上のため(28) 兼1 兼1
				東アジア論	2後	2			1				
長崎と東アジア	2後				2		1						
地域研究(中国)	3前			2			1						
地域研究(朝鮮半島)	3後			2			1						
地域研究(東南アジア)	2・3後				2			1					
地域研究(アメリカ)	3・4前				2		1						
地域研究(ヨーロッパ)	3・4前				2		1						
報道研究(中国)	3・4後				2		1						
報道研究(韓国)	3・4後				2								
地域観光論	3・4前				2								
アジアツーリズム論	3・4後		2			1							

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科 専門科目	メディア 研究	メディア社会学	2後	2				1				
		デジタルメディア論	2・3後	2			1	1				
		メディア表現論	3・4後	2			1					
		メディア活用論	3・4後	2				1				
		広告メディア論	3・4前	2			1					
		ジャーナリズム論	2後	2			1					
		映像ジャーナリズム論	3・4前	2			1					
		時事問題研究	2・3後	2			1					
		文化社会学	3・4前	2				1				
		ネットワーク社会学	3・4前	2			1					
	実践 科目	ディベート	2・3前	2					4 3			兼1 教員の新規採用のため(28)
		プレゼンテーション	2・3後	2					4 3			兼1 教員の新規採用のため(28)
		インターナショナルセミナー	2・3前	2		1			4 3			教員の新規採用のため(28)
		アカデミック・リーディング	2・3前	2		2	2					
		アカデミック・ライティング	2・3後	2				1	4 3			教員の新規採用のため(28)
		コミュニケーション演習	3前	2				1				
		社会調査演習	2後	2				1				
		マスコミ文章演習	2後	2		2						
		新聞制作演習	3前	2				1				
		映像制作演習	3後	2				1				
		広告実践演習	3後	2				1				
		キャリアインターンシップ	3前・後	2		1						
	ナゼ ミル	基礎演習	2通	4			9	12 11	0 1			担当教員の昇任のため(28)
		専門演習	3通	4			9	12 11	0 1			担当教員の昇任のため(28)
		卒業論文	4通	4			9	12 11	0 1			担当教員の昇任のため(28)
教職に 関する 科目		現代教職論	1後			2						兼1
		教育学概論	2前			2	1					兼1
		教育心理学	1前			2						兼1
		教育社会・制度学	1前			2						兼1
		教育法規	2前			2						兼1
		教育課程論	1前			2	1					兼1
		社会科教育法Ⅰ	2前			2						兼1
		社会科教育法Ⅱ	2後			2						兼1
		社会科・公民科教育法Ⅰ	2前			2						兼1
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2後			2						兼1
		道徳教育指導論	2前			2						兼1
		特別活動指導論	3前			2	1					
		教育方法技術論	2後			2	1					
		生徒指導論(進路指導含む)	3前			2						兼1
		教育相談・カウンセリング	3前			2						兼1
		教育実習Ⅰ(事前・事後指導含む)	4通			5	1					
		教育実習Ⅱ(事前・事後指導含む)	4通			3	1					
		教職実践演習(中・高)	4後			2	1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由		必 修	選 択	自 由	計	
科目 32	科目 148	科目 18		科目 32 [0]	科目 148 [0]	科目 18 [0]	科目 198 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	海外語学研修（韓国・朝鮮語）	2	1・2・3 前・後	一般	選択	研修受け入れ先とスケジュールの調整がつか なかったため。代替措置無し。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっ
て
いる授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入して
ください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今年度「韓国・朝鮮語」を履修している学生は初習の学生のみであり，語学研修に参加できる学力に達しておらず，参
加を希望している学生もいないため，影響は少ないものとする。(28)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周
知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	125,685 m ²	— m ²	— m ²	125,685 m ²				
	運動場用地	51,250 m ²	— m ²	— m ²	51,250 m ²				
	小 計	176,935 m ²	— m ²	— m ²	176,935 m ²				
	そ の 他	11,920 m ²	— m ²	— m ²	11,920 m ²				
	合 計	188,855 m ²	— m ²	— m ²	188,855 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		48,532 m ² (48,532 m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)	48,532 m ² (48,532 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 使用頻度が少ない講義室を 事務室へ変更 (H28) 就任辞退による (H28)		
		44 45 室	44 室	30 室	11 室 (補助職員 2 人)	4 室 (補助職員 1 2 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		国際社会学部 国際社会学科			28 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	機械・器具は国際社会学部 及び情報システム学部 全体 ※大学での共用分 図書 165,084冊[45,993冊] 学術雑誌 273冊[127冊] 電子ジャーナル 12[12] 視聴覚資料 4,945点	
	国際社会学部	97,878 [5,919] (94,139 [5,457]) (94,810 [5,555])	294 [148] (81 [28]) (196 [101])	5 [2] (14 [14]) (3 [1])	2,149 (2,046) (2,047)	379 (369) (379)	0 (0)		
	計	97,878 [5,919] (94,139 [5,457]) (94,810 [5,555])	294 [148] (81 [28]) (196 [101])	5 [2] (14 [14]) (3 [1])	2,149 (2,046) (2,047)	379 (369) (379)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		6,462 m ²		603		500,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		4,827 m ²		武道館		弓道場			
				テニスコート (14面)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※図書購入費には電子 ジャーナル・データベースの整 備費 (運用コスト含む) を含む。
		教員 1 人当り研究費等	1,030 千円	1,030 千円	図書購入費	83,387 千円	75,227 千円	75,227 千円	
		共 同 研 究 費 等	93,688 千円	93,688 千円	設備購入費	232,599 千円	121,615 千円	121,615 千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	※学生納付金は上段が 県内の学生、下段が県 外からの学生	
		729千円	536千円	536千円	536千円	— 千円	— 千円		
		906千円	536千円	536千円	536千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			長崎県からの運営費交付金を充当					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号 (その1の1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		長崎県立大学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
経済学部	年	人	年次 人	人		倍		長崎県佐世保市 川下町123番地		
経済学科	4	—	—	—	学士 (経済学)	—	平成20年度		※平成28年4月学生募集停止	
地域政策学科	4	—	—	—	学士 (地域政策学)	—	平成20年度		※平成28年4月学生募集停止	
流通・経営学科	4	—	—	—	学士 (流通・経営学)	—	平成20年度		※平成28年4月学生募集停止	
経営学部						1.01				
経営学科	4	140	—	560	学士 (経営学)	1.02	平成28年度			
国際経営学科	4	60	—	240	学士 (経営学)	1.00	平成28年度			
地域創造学部						1.04				
公共政策学科	4	120	—	480	学士 (公共政策学)	1.05	平成28年度			
実践経済学科	4	130	—	520	学士 (経済学)	1.04	平成28年度			
経済学研究科						0.79				
産業経済・経済開発専攻	2	12	—	24	修士 (経済学)	0.79	平成20年度			
国際情報学部						—		長崎県西彼杵郡 長与町まなび野 1丁目1番1		
国際交流学科	4	—	—	—	学士 (国際交流学)	—	平成20年度		※平成28年4月学生募集停止	
情報メディア学科	4	—	—	—	学士 (情報メディア学)	—	平成20年度		※平成28年4月学生募集停止	
国際社会学部						1.08				
国際社会学科	4	60	—	240	学士 (国際社会学)	1.08	平成28年度			
情報システム学部						1.05				
情報システム学科	4	40	—	160	学士 (情報システム学)	1.05	平成28年度			
情報セキュリティ学科	4	40	—	160	学士 (情報セキュリティ学)	1.05	平成28年度			
看護栄養学部						1.04				
看護学科	4	60	—	240	学士 (看護学)	1.04	平成20年度			
栄養健康学科	4	40	—	160	学士 (栄養健康学)	1.04	平成20年度			
国際情報学研究科						0.40				
国際交流学専攻	2	6	—	12	修士 (国際交流学)	0.33	平成20年度			
情報メディア学専攻	2	4	—	8	修士 (情報メディア学)	0.50	平成20年度			
人間健康科学研究科						0.75				
看護学専攻	2	8	—	16	修士 (看護学)	0.75	平成20年度			
栄養科学専攻 (博士前期課程)	2	8	—	16	修士 (栄養学)	0.75	平成20年度			
人間健康科学研究科						0.22				
栄養科学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (栄養学)	0.22	平成20年度			

平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<国際社会学部 国際社会学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	瀬端 孝夫 (64歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際関係論入門 東アジア論 地域研究(アメリカ) 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	教授	李 炯喆 (63歳)	平成28年4月	教養セミナー 政治学 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 海外語学研修(韓国・朝鮮語) 対外政策論 地域研究(朝鮮半島) 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	教授	村上 雅通 (62歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際情報論 映像ジャーナリズム論 時事問題研究 マスコミ文章演習 キャリアインターンシップ 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	教授	上村 俊彦 (61歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 英語実践演習Ⅰ 英語実践演習Ⅱ 英語実践演習Ⅲ リーディングⅠ リーディングⅡ リーディングⅢ ライティングⅠ アカデミック・リーディング 基礎演習 専門演習 卒業論文	専	教授	上村 俊彦 (61歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 英語実践演習Ⅰ 英語実践演習Ⅱ 英語実践演習Ⅲ リーディングⅠ リーディングⅡ リーディングⅢ ライティングⅠ アカデミック・リーディング 基礎演習 専門演習 卒業論文 海外語学研修(英語)	担当教員の見直しのため(28)
専	教授	竹部 隆昌 (57歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 西洋史概説						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	下野 孝文 (57歳)	平成28年4月	教養セミナー 文学 長崎と文化 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク						
専	教授	関谷 融 (56歳)	平成28年4月	教養セミナー 哲学 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク メディア活用論 基礎演習 専門演習 卒業論文 教育学概論 教育課程論 特別活動指導論 教育方法技術論 教育実習Ⅰ(事前・事後指導含む) 教育実習Ⅱ(事前・事後指導含む) 教職実践演習(中・高)						
専	教授	森田 均 (55歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 情報メディア文化論 メディア表現論 ネットワーク社会論 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	教授	祁 建民 (55歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 中国ⅡA(ヒアリング作文) 中国ⅡB(ヒアリング作文) 国際事情※ 地域研究(中国) アカデミック・リーディング 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	教授	鈴木 暁彦 (53歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク マスコミュニケーション論 長崎と東アジア 報道研究(中国) ジャーナリズム論 マスコミ文章演習 インターナショナルセミナー 基礎演習 専門演習 卒業論文						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	荻野 晃 (49歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際政治学 安全保障論 地域研究(ヨーロッパ) 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	准教授	金村 公一 (59歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク デジタルメディア論 新聞制作演習 映像制作演習 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	准教授	山田 健太郎 (57歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 英語実践演習Ⅶ 英語実践演習Ⅷ 英語実践演習Ⅸ リーディングⅠ リーディングⅡ リーディングⅢ ライティングⅠ 海外語学研修(英語) 異文化コミュニケーション アカデミックリーディング 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	准教授	小原 篤次 (54歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 現代社会と経済 国際金融論 地域研究(東南アジア) 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	准教授	山本 周 (54歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 中国語ⅠA(会話) 中国語ⅠB(会話) 中国語ⅡA(会話) 中国語ⅡB(会話) 海外語学研修(中国語) アカデミックライティング 基礎演習 専門演習 卒業論文	専	准教授	山本 周 (55歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 中国語ⅠA(会話) 中国語ⅠB(会話) 中国語ⅡA(会話) 中国語ⅡB(会話) 海外語学研修(中国語) アカデミックライティング 基礎演習 専門演習 卒業論文 比較文化論	教育効果の向上のため(28)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	河又 貴洋 (53歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際コミュニケーション論 ネットワーク経済論 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	准教授	柳田 多聞 (53歳)	平成28年4月	教養セミナー 心理学 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク ボランティア活動 コミュニケーション演習 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	准教授	吉光 正絵 (47歳)	平成28年4月	教養セミナー 社会学 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際社会学入門※ 社会調査入門 ジェンダー論 文化社会学 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	准教授	門部 昌志 (47歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際社会学入門※ メディア社会学入門 メディア社会学 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	准教授	唐津 理恵 (43歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 英語実践演習Ⅳ 英語実践演習Ⅴ 英語実践演習Ⅵ リーディングⅠ リーディングⅡ リーディングⅢ 比較文化論 国際文化論 アカデミックリーディング 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	准教授	松尾 晋一 (42歳)	平成28年4月	教養セミナー 日本史概説 長崎の歴史と今 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	PONGSAPITAKSA NTI Piya (39歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際社会学入門※ アジアツーリズム論 広告メディア論 社会調査演習 広告実践演習 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	准教授	福島 涼史 (38歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎と平和 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際法 国際機構論 国際社会と人権 基礎演習 専門演習 卒業論文						
専	講師	和田 一哉 (41歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際経済学 開発援助論 基礎演習 専門演習 卒業論文	専	准教授 講師	和田 一哉 (41歳)	平成28年4月	教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際経済学 開発援助論 基礎演習 専門演習 卒業論文	担当教員の昇任のため (28)
専	講師	Neil Thomas Millington (41歳)	平成28年4月	オール・コミュニケーションⅠ オール・コミュニケーションⅡ オール・コミュニケーションⅢ オール・コミュニケーションⅣ ライティングⅡ ディベート プレゼンテーション インターナショナルセミナー アカデミック・ライティング						
専	講師	Bradly Gordon Smith (41歳)	平成28年4月	オール・コミュニケーションⅠ オール・コミュニケーションⅡ オール・コミュニケーションⅢ オール・コミュニケーションⅣ ライティングⅡ ディベート プレゼンテーション インターナショナルセミナー アカデミック・ライティング	専	講師	Bradly Gordon Smith (41歳)	平成28年4月	オール・コミュニケーションⅠ オール・コミュニケーションⅡ オール・コミュニケーションⅢ オール・コミュニケーションⅣ ライティングⅡ ディベート プレゼンテーション インターナショナルセミナー アカデミック・ライティング ライティングⅠ	担当教員の就任辞退のため (28)
					専	講師	William MacDonald (40歳)	平成28年4月	オール・コミュニケーションⅠ オール・コミュニケーションⅡ オール・コミュニケーションⅢ オール・コミュニケーションⅣ ライティングⅡ ディベート プレゼンテーション インターナショナルセミナー アカデミック・ライティング	教員の新規採用のため (28)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	Shannon Mason (35歳)	平成28年4月	オーラル・コミュニケーションⅠ オーラル・コミュニケーションⅡ オーラル・コミュニケーションⅢ オーラル・コミュニケーションⅣ ライティングⅡ ディベート プレゼンテーション インターナショナルセミナー アカデミック・ライティング						
専	講師	生田 和也 (33歳)	平成28年4月	ライティングⅠ	専	講師	William MacDonald (40歳)	平成28年4月	ライティングⅠ	担当教員の就任辞退のため(28)
兼任	教授	伊藤 憲一 (69歳)	平成28年4月	情報処理概論 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	教授	四童子 好廣 (66歳)	平成28年4月	生物科学	兼任	教授	大曲 勝久 (56歳)	平成28年4月	生物科学	担当教員の見直しのため(28)
兼任	教授	樋口 才二 (63歳)	平成28年4月	化学						
兼任	教授	宮崎 明人 (63歳)	平成28年4月	物理科学 科学史						
兼任	教授	古河 幹夫 (62歳)	平成28年4月	長崎と産業※						
兼任	教授	柳田 芳伸 (62歳)	平成28年4月	現代社会の課題※						
兼任	教授	田中 一成 (61歳)	平成28年4月	健康と科学						
兼任	教授	長沼 信之 (60歳)	平成28年4月	現代社会の課題※						
兼任	教授	永野 哲也 (57歳)	平成28年4月	数学 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	教授	辺見 一男 (57歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	教授	石川 雄一 (57歳)	平成28年4月	長崎と産業※						
兼任	教授	小松 文子 (57歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	教授	西島 博樹 (56歳)	平成28年4月	現代社会の課題※	兼任	教授	神保 充弘 (47歳)	平成28年4月	現代社会の課題※	担当教員の就任辞退のため(28)
兼任	教授	Somchai CHATVICHENCHAI (55歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	教授	立石 憲彦 (55歳)	平成28年4月	現代社会の課題※ 暮らしの中の救急法						
兼任	教授	谷澤 毅 (54歳)	平成28年4月	長崎と産業※						
兼任	教授	山本 裕 (53歳)	平成28年4月	現代社会の課題※						
兼任	教授	大塚 一徳 (53歳)	平成28年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ インターンシップ 教育心理学	兼任	教授	大曲 勝久 (56歳)	平成28年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ インターンシップ	担当教員の見直しのため(28)
兼任	教授	大塚 一徳 (53歳)	平成28年4月	教育心理学	兼任	教授	大塚 一徳 (53歳)	平成28年4月	教育心理学	
兼任	教授	日下部 茂 (50歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	教授	青木 研 (49歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	加藤 雅彦 (46歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	教授	松尾 真一郎 (44歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	兼任	教授	松崎 なつめ (56歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	担当教員の就任辞退のため(28)
兼任	教授	山口 文彦 (45歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	教授	平岡 透 (44歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	教授	金谷 一朗 (43歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	教授	車 相龍 (42歳)	平成28年4月	長崎と産業※						
兼任	准教授	吉村 元秀 (47歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	准教授	片山 徹也 (47歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	准教授	富永 美穂子 (45歳)	平成28年4月	食文化論	兼任 准教授	教授 准教授	富永 美穂子 (46歳)	平成28年4月	食文化論	担当教員の昇任のため(28)
兼任	准教授	吉本 諭 (45歳)	平成28年4月	長崎と産業※						
兼任	准教授	穴田 啓晃 (43歳)	平成28年4月	統計学 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	准教授	實原 隆志 (40歳)	平成28年4月	日本国憲法 法学	兼任 兼任	講師 講師	奈須 祐治 (41歳) 種田 和彦 (30歳)	平成28年4月 平成28年4月	日本国憲法 法学	担当教員の就任辞退のため(28) 担当教員の就任辞退のため(28)
兼任	准教授	松田 健 (36歳)	平成28年4月	数学 統計学 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	講師	前村(藤本) 葉子 (43歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	講師	藤沢 望 (40歳)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	講師	飛奈 卓郎 (38歳)	平成28年4月	現代人とスポーツ 運動と栄養						
兼任	講師	片岡 千賀之 (70歳)	平成28年4月	長崎と産業※						
兼任	講師	小田 恒治 (69歳)	平成29年4月	道徳教育指導論						
兼任	講師	荒木 幹也 (69歳)	平成30年4月	生徒指導論(道徳指導含む)						
兼任	講師	野口 正徳 (68歳)	平成28年4月	ライフスポーツ						
兼任	講師	大村 好喜 (67歳)	平成28年4月	現代教職論						
兼任	講師	渡邊 節子 (66歳)	平成28年4月	日本語ⅤA 日本語ⅤB 日本語ⅥA 日本語ⅥB 日本語ⅦA 日本語ⅦB						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	宮崎 賢太郎 (65歳)	平成28年4月	長崎と宗教						
兼任	講師	山下 義昭 (63歳)	平成28年4月	法律学総論						
兼任	講師	古賀 幸久 (63歳)	平成29年4月	国際事情※						
兼任	講師	飯塚 知敬 (63歳)	平成28年4月	倫理学						
兼任	講師	朝長 美智子 (62歳)	平成28年4月	対人関係論						
兼任	講師	宮坂 正英 (61歳)	平成28年4月	シーボルトと長崎						
兼任	講師	齋 稔生 (61歳)	平成28年4月	中国語ⅠB(ヒアリング作文) 中国語ⅡA(講読) 中国語ⅡB(講読) 中国語ⅢA(表現)						
兼任	講師	Pascal Yamak (61歳)	平成28年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅠB						
兼任	講師	福田 正弘 (59歳)	平成29年4月	社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ						
兼任	講師	劉 愛莉 (59歳)	平成28年4月	中国語ⅠA(文法) 中国語ⅠB(文法) 中国語ⅠB(筆記・読解) 中国語ⅢA(時事・新聞) ディベート プレゼンテーション						
兼任	講師	池永 正人 (58歳)	平成28年4月	長崎と産業※						
兼任	講師	五十嵐 勉 (58歳)	平成28年4月	地理学概論						
兼任	講師	仲井 幹也 (57歳)	平成28年4月	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB	兼任	講師	坂本 彩希絵 (33歳)	平成28年4月	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB	担当教員の就任辞退のため(28)
兼任	講師	中村 直人 (57歳)	平成29年4月	教育法規						
兼任	講師	申 明直 (56歳)	平成30年4月	報道研究(韓国)						
兼任	講師	胡 曙光 (55歳)	平成28年4月	中国語ⅠA(ヒアリング作文) 中国語ⅠA(筆記・読解) 中国語ⅡA(筆記・読解) 中国語ⅡB(筆記・読解)						
兼任	講師	小谷 裕子 (55歳)	平成28年4月	日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅢA 日本語ⅢB 日本語ⅣA 日本語ⅣB						
兼任	講師	宮崎 泰司 (54歳)	平成28年4月	被曝と健康						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	中山 泰道 (54歳)	平成28年4月	民法入門						
兼任	講師	福田 理香 (51歳)	平成28年4月	ライフスポーツ	兼任	講師	藤巻 慎 (27歳)	平成28年4月	ライフスポーツ	担当教員の就任辞退のため (28)
					兼任	講師	吉岡 潔志 (31歳)	平成28年4月	ライフスポーツ	担当教員の就任辞退のため (28)
					兼任	講師	北嶋 康雄 (32歳)	平成28年4月	ライフスポーツ	担当教員の就任辞退のため (28)
兼任	講師	中野 明人 (50歳)	平成30年4月	教育相談・カウンセリング						
兼任	講師	古川 展子 (49歳)	平成28年4月	国語表現						
兼任	講師	増田 研 (47歳)	平成28年4月	文化人類学	兼任	講師	中村 淳 (47歳)	平成28年4月	文化人類学	担当教員の就任辞退のため (28)
兼任	講師	伊志嶺 安博 (47歳)	平成28年4月	日本事情ⅠA 日本事情ⅠB 日本事情ⅡA 日本事情ⅡB						
兼任	講師	滝澤 晶子 (46歳)	平成28年4月	スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB						
兼任	講師	久芳 崇 (45歳)	平成28年4月	東洋史概説						
兼任	講師	土肥 大次郎 (44歳)	平成29年4月	社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ						
兼任	講師	田中 理恵 (43歳)	平成28年4月	教育社会・制度学						
兼任	講師	安江 枝里子 (39歳)	平成30年4月	地域観光論						
兼任	講師	沈 智炫 (38歳)	平成28年4月	韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB 韓国・朝鮮語ⅢA 韓国・朝鮮語ⅢB						
兼任	講師	佐々木 正徳 (38歳)	平成28年4月	韓国・朝鮮語ⅡA 韓国・朝鮮語ⅡB						
兼任	講師	山川 俊和 (35歳)	平成28年4月	現代の企業経営						
兼任	講師	栗原 拓也 (35歳)	平成28年4月	生活と社会保障制度	兼任	講師	飛永 高秀 (43歳)	平成28年4月	生活と社会保障制度	担当教員の就任辞退のため (28)
兼任	講師	小島 大輔 (35歳)	平成28年4月	人文地理学						
兼任	講師	山川 俊和 (35歳)	平成28年4月	国際社会と環境保全						
兼任	講師	西山 美久 (30歳)	平成29年4月	国際事情※						

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
11	12	5	—	28	11	13	4	—	28	11	13	4	—	28
(11)	(12)	(5)	(—)	(28)						[0]	[1]	[Δ1]	[—]	[—]

(注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	2 名

(注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況		就任辞退（未就任）の理由						
1	講師	生田 和也	選択		ライティングⅠ	①		他大学への転出による就任辞退（28）						
合計（A）						後任補充状況の集計（B）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	—	科目	必修	—	必修	—	必修	—
		選択	—	科目	選択	—	選択	—	選択	—
		自由	—	科目	自由	—	自由	—	自由	—
		計	—	科目	計	—	計	—	計	—

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・就任辞退した専任教員（生田和也）が担当していた授業科目は、後任の専任教員（William MacDonald）が担当するため、学生の履修等に影響はない。なお、学生への周知は学生便覧、シラバス等に掲載する形で行っている。（28）

（注）・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年4月)	該当なし		該当なし	
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (31年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

＜国際社会学部 国際社会学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育開発センターが主体となり企画・運営

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

今後開催予定（H28. 5）

c 委員会の審議事項等

(1) 教育内容の充実及び教育方法の改善に関すること

ア 授業方法等の改善に関すること

イ 全学的なFDの企画、実施に関すること

ウ 教育の評価方法の研究・企画及び実施に関すること

エ 現代の大学教育の重要課題に関する情報の収集整理に関すること

(2) 教育に関する研究及び企画に関すること

(3) その他教育内容の充実に関すること

② 実施状況

a 実施内容

授業方法の改善等の事業計画の策定

全学的なFD研修会の実施

授業評価アンケートの実施

FDに関する調査、資料等収集 など

b 実施方法

・全学的なFD研修会および学部・学科・研究科単位でのFD研修会の実施

・前期・後期での授業評価アンケートの実施および集約を行い、その結果に基づき各教員より改善状況を点検報告書として報告させる。今後、組織的な活用を検討する。

・学習成果測定のための情報収集や研修会への参加により、教育開発センターを中心とした指標の開発を検討する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

今後開催予定

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・授業評価アンケート結果の分析や各教員の改善事項を踏まえた「点検報告書」の作成 予定

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

主に7月、1月に実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果をHPで公表するとともに、学内において科目毎の評価結果を公開する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

一般的な経済学の知識も踏まえつつも、社会における実践的な知識及びスキルを身に付けた人材の輩出が学科設置の趣旨である。

そのため企業活動における企画・立案能力を有し、地域経済の動向を分析し、その発展に寄与できる人材の育成に取り組んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成33年5月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成33年5月）

③ 認証評価を受ける計画

・平成32年度に評価機関（公益財団法人 大学基準協会）の評価を受けるべく、自己点検・評価を行う予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年 5月)